

北九州市農林水産業振興計画

(令和4年度～令和8年度)

～豊かな自然とめぐみを次世代へつなぐ～



令和4年 月

北九州市産業経済局

目 次

第 1 章 計画策定にあたって	6
1 計画の位置付け	6
2 計画期間	6
3 本市農林水産業の現状	6
4 農林水産業を取り巻く環境の変化(外部環境)	14
5 包括的な政策理念	18
6 計画策定にあたっての課題と視点	20
第 2 章 目標と重要目標達成指標(KGI)	22
1 目標	22
2 10年後の目指す姿	22
3 重要目標達成指標(KGI)	23
第 3 章 基本方針・施策体系・重要業績評価指標(KPI)	
基本方針Ⅰ 担い手の確保と所得向上	24
施策体系Ⅰ－1 多様な担い手の確保	
施策体系Ⅰ－2 生産力の向上	
基本方針Ⅱ 生産環境の保全・整備	26
施策体系Ⅱ－1 生産基盤整備	
施策体系Ⅱ－2 国土保全・公益的機能の向上	
基本方針Ⅲ 都市と共存する農林水産業の推進	28
施策体系Ⅲ－1 地産地消の推進	
施策体系Ⅲ－2 市民との共生・協働	
第 4 章 主要施策	30
基本方針Ⅰ 担い手の確保と所得向上	30
1 多様な担い手の確保	30
(1) 産業の担い手	30
(2) 地域の担い手	30
(3) 新たな担い手	31
2 生産力の向上	32
(1) 担い手への農地集積	32
(2) 所得の向上、安定化	32
(3) 森林経営の支援	33
(4) 資源管理型漁業の推進	34

基本方針Ⅱ 生産環境の保全・整備	35
1 生産基盤整備	35
(1) 遊休農地の発生防止・解消	35
(2) ほ場整備	35
(3) 農業施設の適正管理	35
(4) 林道の整備	36
(5) 漁港の整備	36
2 国土保全・公益的機能の向上	37
(1) ため池防災対策の推進	37
(2) 荒廃森林の整備	37
(3) 放置竹林の拡大防止	37
(4) 漁場環境の保全と整備	38
(5) 環境負荷の軽減	38
基本方針Ⅲ 都市と共存する農林水産業の推進	40
1 地産地消の推進	40
(1) 情報発信の強化	40
(2) 「食」イベントの充実	40
(3) 食育の推進	40
(4) 農商工連携	40
(5) ブランド化支援	41
(6) 流通・販売支援	41
2 市民との共生・協働	41
(1) 農林水産業体験機会の提供	41
(2) 市民への憩いの場の提供	41
(3) 鳥獣被害の軽減	42
(4) 総合農事センター「花農丘公園」の機能強化	42
第5章 施策を横断する重点的な取組	44
1 北九州市版むらづくり活動の活性化	44
2 多様な主体が農林水産業を担う仕組みづくり	46
3 スマート技術の導入による生産流通体制の効率化	48
用語解説	50

北九州市農林水産業振興計画(概要)

～豊かな自然とめぐみを次世代へつなぐ～

(令和4年度～令和8年度)

①本市農林水産業の現状

	指標	前計画策定時 (平成27年度)	本計画策定時 (令和2年度)
農 業	農家戸数	2,609	2,023
	農業生産額(百万円)	4,218	4,182
	基幹的農業従事者の高齢化率 (65歳以上の割合)(%)	70.0	75.2
林 業	森林面積(ha)	15,851	15,727
	竹林面積(ha)	1,586	1,905
水 産 業	漁業経営体数	441	419
	漁業生産額(百万円)	3,032	3,252
畜 産 業	畜産農家戸数	14	13
	「小倉牛」生産頭数	91	55
鳥獣被害 対 策	イノシシの相談件数	581	1,302
	二ホンザルの相談件数	140	243

②本市の強みと弱み(内部環境)

強み	<ul style="list-style-type: none"> 100万都市圏の消費地市場を背後に控え、市民の身近で農林水産業が営まれる都市 特徴ある3つの漁場 (筑前海・関門海峡・豊前海) ブランド農林水産物の存在 (合馬たけのこ、豊前海一粒かき、小倉牛など)
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行・担い手の減少 放置竹林の増加 鳥獣被害の増加

③農林水産業を取り巻く環境の変化(外部環境)

政策的要因	経済的要因
<ul style="list-style-type: none"> 「水産基本計画」(平成29年4月) 「食料・農業・農村基本計画」(令和2年3月) 「みどりの食料システム戦略」(令和3年5月) 「森林・林業基本計画」(令和3年6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響 ウッドショックの影響 東アジア地域包括的経済連携(RCEP)、環太平洋経済連携協定(TPP)の発効
社会的要因	技術的要因
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの達成へ向けた取り組み強化 「半農半X」など農村への関心の高まり(田園回帰) 自然災害の激甚化、地球温暖化の影響 食に対する安全・安心への関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農林水産業の実現 デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展 ゲノム編集技術の登場と農業分野への応用

⑤現状から導き出される課題と強化すべき分野

継続的な課題 担い手確保 所得向上	<ul style="list-style-type: none"> 現在の生産水準を維持するため、引き続き担い手の確保、育成が必要。 職業としての農林水産業の魅力向上のため、生産性の向上や所得の安定化が必要。
強化すべき分野 安心・安全 市民連携 田園回帰	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が激甚化しており、農地、森林、漁港等の災害防止機能を含む多面的機能がますます重要。 都市に近く市民に身近である特性を活かし、市内農林水産業のファンを増やす取り組みや市民が農林水産業に関わる機会の創出が重要。
新たな課題 持続可能化 スマート化 新型コロナ対策	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した持続可能な農林水産業を実践し、SDGsの目標達成に貢献。 IT、AI、ロボット技術等の新技術を活用したスマート農林水産業を推進。 新型コロナウイルス感染症の拡大による、消費・流通・生活の変化に対応。

④包括的な政策理念

S D G s	「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会
ワンヘルス	人と動物の健康と環境の健全性は一つ
New U	あたらしいことを、はじめやすい都市。福岡県北九州市。